

令和 8 年度山地保全調査（有明海等流域における山地災害・治山対策の海域環境への影響に関する調査）委託事業仕様書

1 件名

令和 8 年度 山地保全調査（有明海等流域における山地災害・治山対策の海域環境への影響に関する調査）委託事業

2 目的

有明海及び八代海（以下「有明海等」という。）は、豊かな水産資源と多様な生態系を有する閉鎖性海域である一方、近年は富栄養化や赤潮の頻発等の環境悪化が深刻化しており、漁獲量も減少している。こうした課題に対応するため、平成 14 年に「有明海及び八代海等を再生するための特別措置法」が制定され、平成 23 年の改正により、「森林と有明海等の環境の関係に関する調査」が国の調査事項として追加された。これを受けて、林野庁では、平成 27 年度から令和 7 年度までにかけて、有明海等に注ぐ一級河川の各流域における水量・土砂・栄養塩類の動向を解析し、森林が河川を通じて海域環境に与える影響を定量的に評価してきたところである。

一方、有明海等流域においては、令和 2 年 7 月の球磨川豪雨災害を始め、近年気候変動により豪雨が増加し、流木を伴う大規模な山地災害が相次いで発生している。これらの災害に伴い、大量の土砂・流木が河川を通じて海域に流入し、濁度の上昇や底質の変化、漂流ごみの発生等を引き起こし、ノリ養殖・貝類生産への影響など、海域環境に一定の負荷を与えてきたと考えられるが、これらの災害に伴い発生した土砂・流木の流出抑制に治山施設がどの程度効果を発揮し、海域環境への負荷軽減に寄与してきたのかについては、これまで総括的な調査が行われていない。

このため、これらの状況を踏まえ、令和 8 年度は本調査において、有明海等流域で発生した山地災害と関連して効果を発揮したと認められる治山対策の事例を収集・分析し、治山施設の整備後に発生した複数の豪雨における土砂・流木の流出状況や、治山施設による捕捉の実態を整理することで、土砂・流木流出が海域環境に与える影響と、治山対策による急激な流出を抑制する効果を既存データに基づき科学的に評価するものである。

3 内容

本調査では、有明海等流域で発生した山地災害及び当該流域で実施された治山対策が、河川や海域の環境にどのような影響を及ぼしたかを整理するため、既存資料を中心に以下の内容を実施する。

（1）山地災害の発生状況の整理

令和 2 年 7 月豪雨災害を始め、おおむね過去 20 年間程度の期間に有明海等流域で

発生した山地災害（おおむね5事例程度）の概要を、既存の資料や写真等に基づき把握し、災害の特徴や流出状況を整理する。

（2）治山対策の実施状況及び効果の検証

（1）で整理した山地災害事例に対し、当該災害において効果を発揮した主な治山対策（流木被害防止対策、土石流対策、崩壊防止対策等）（山地災害1事例に対し、3箇所程度）について、その概要を整理し、対策の位置付けや役割を確認するとともに、土砂や流木の捕捉状況等を既存資料から把握し、これらの事例に基づいて、当該対策が急激な土砂の流出の抑制や海域環境への負担軽減にどの程度寄与したと考えられるか評価する。

また、これとは別に、崩壊地の植生回復や斜面の安定化など、治山対策に伴う森林・地形の回復過程についても既存資料等に基づき整理し、対策を講じなかった場合に想定される流出との比較を含めつつ、回復状況が流域の土砂動態に及ぼす影響について検討する。なお、回復過程の整理については、おおむね3箇所程度を対象とすることを想定する。

（3）専門家意見の聴取

必要に応じて、山地災害、治山、河川環境、海域生態系等に関する専門家から助言を得て（おおむね5回程度）、調査内容に反映する。

（4）委託者との打合せ・協議

本事業の実施に当たり、受託者は林野庁と適宜打合せ・協議を行い、調査内容、事例の選定、整理方法等について確認を行うものとする。打合せ・協議は、事業開始時、中間段階及び成果の取りまとめ段階を基本として、おおむね3回程度実施するものとする

（5）調査報告書の作成

（1）～（4）について調査報告書にまとめる。

4 契約期間

契約締結日から令和9年3月19日（金）まで

5 成果品

（1）納入物品

① 調査報告書 5部（A4版カラー）

② 電磁記録媒体（DVD-R等） 5部

納入する電磁記録媒体については、調査報告書、本事業で取得したデータを含めること。

また、納入前にはウイルスチェックを行い、ウイルスチェックに関する情報（ウイルス対策ソフト名、定義ファイルのバージョン、チェック年月日等）を記載したラベルを添付すること。

(2) 納入場所

林野庁森林整備部治山課（本館7階ドア No.本 769）

(3) 納入期限

令和9年3月12日（金）

6 技術要件

本事業の実施に当たっては、技術士（森林分野）又は林業技士を配置すること。

また、指導取りまとめの業務の一部を技術士（森林分野）又は林業技士が所属する者に委託し又は請け負わせる場合は、そのことが確認できる資料を提出し承認を得ること。

7 その他

- (1) 受託者は、原則、提案書のとおり事業実施するものとする。
- (2) 受託者は、適時適切な工程管理・リスク管理を行い、本事業の進行状況等を毎月報告するほか、林野庁担当者の求めに応じて報告を行うこと。また、対処すべき問題が発生した場合には、速やかに林野庁担当者に報告するとともに、対応案について林野庁担当者に事前に了解を得ること。
- (3) 業務の目的を達成するために、林野庁担当者は、業務状況・進行状況に関して必要な指示を行えるものとし、受託者はこの指示に従うものとする。
- (4) 受託者は、本事業の実施に当たって再委託を行う場合には、事前に支出負担行為担当官である林野庁長官に承認を得ること。
- (5) 受託者は、本事業により知り得た情報については、契約期間中はもとより、契約期間終了後においても外部に漏らしてはならないこと。
- (6) 林野庁担当者と受託者は、本事業の目的を達成するため、本仕様書に明示されていない事項で必要な作業が生じたときは協議を行うこと。
- (7) 本事業における人件費の算定に当たっては、別添の「委託事業における人件費の算定等の適正化について」に従って行うものとする。なお、発注者は受諾者か

ら提出された人件費の算定について確認するため、原則として人件費単価表（受託者が組織として人件費単価を定めている場合）又は実際に従事する（した）者の給与明細を確認する。

（８）受託者は、委託事業の提供に当たり、新たな環境負荷を与えることにならないよう、事業の最終報告時に様式を用いて、以下の取組に努めたことを、環境負荷低減のみどりチェック実施状況報告書（別紙）として提出すること。なお、全ての事項について「実施した／努めた」又は「左記非該当」のどちらかにチェックを入れるとともに、ア及びイの各項目について、一つ以上「実施した／努めた」にチェックを入れること。

ア 環境負荷低減に配慮したものを調達するよう努める。

イ エネルギーの削減の観点から、オフィスや車両・機械などの電気、燃料の使用状況の記録・保存や、不必要・非効率なエネルギー消費を行わない取組（照明、空調のこまめな管理や、ウォームビズ・クールビズの励行、燃費効率の良い機械の利用等）の実施に努める。

様式

みどりチェック実施状況報告書

事業名	
事業者名	
担当者・連絡先	

以下のア～カの取組について、実施状況を報告します。

ア 環境負荷低減に配慮したものを調達するよう努める。

具体的な事項	実施した／努めた	左記非該当
・対象となる物品の輸送に当たり、燃料消費を少なくするよう検討する（もしくはそのような工夫を行っている配送業者と連携する）。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・対象となる物品の輸送に当たり、燃費効率の向上や温室効果ガスの過度な排出を防ぐ観点から、輸送車両の保守点検を適切に実施している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・農林水産物や加工食品を使用する場合には、農薬等を適正に使用して（農薬の使用基準等を遵守して）作られたものを調達することに努めている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・事務用品を使用する場合には、詰め替えや再利用可能なものを調達することに努めている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・その他（ ）		

・上記で「実施した／努めた」に一つもチェックが入らず（全て「左記非該当」）、その他の取組も行っていない場合は、その理由（ ）

イ エネルギーの削減の観点から、オフィスや車両・機械などの電気、燃料の使用状況の記録・保存や、不必要・非効率なエネルギー消費を行わない取組（照明、空調のこまめな管理や、ウォームビズ・クールビズの励行、燃費効率の良い機械の利用等）の実施に努める。

具体的な事項	実施した／努めた	左記非該当
・事業実施時に消費する電気・ガス・ガソリン等のエネルギーについて、帳簿への記載や伝票の保存等により、使用量・使用料金の記録に努めている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・事業実施時に使用するオフィスや車両・機械等について、不要な照明の消灯やエンジン停止に努めている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・事業実施時に使用するオフィスや車両・機械等について、基準となる室温を決めたり、必要以上の冷暖房、保温を行わない等、適切な温度管理に努めている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・事業実施時に使用する車両・機械等が効果的に機能を発揮できるように、定期的な点検や破損があった場合は補修等に努めている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・夏期のクールビズや冬期のウォームビズの実施に努めている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・その他（ ）	/	/

・上記で「実施した／努めた」に一つもチェックが入らず（全て「左記非該当」）、その他の取組も行っていない場合は、その理由（ ）

ウ 臭気や害虫の発生源となるものについて適正な管理や処分に努める。

具体的な事項	実施した／努めた	左記非該当
・臭気が発生する可能性がある機械・設備（食品残さの処理や堆肥製造等）を使用する場合、周辺環境に影響を与えないよう定期的に点検を行う。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・臭気や害虫発生の原因となる生ごみの削減や、適切な廃棄などに努めている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・食品保管を行う等の場合、清潔な環境を維持するため、定期的に清掃を行うことに努めている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・その他（ ）	/	/

・上記で「実施した／努めた」に一つもチェックが入らず（全て「左記非該当」）、その他の取組も行っていない場合は、その理由（ ）

エ 廃棄物の発生抑制、適正な循環的な利用及び適正な処分に努める。

具体的な事項	実施した／努めた	左記非該当
・事業実施時に使用する資材について、プラスチック資材から紙などの環境負荷が少ない資材に変更することを検討する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・資源のリサイクルに努めている（リサイクル事業者に委託することも可）。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・事業実施時に使用するプラスチック資材を処分する場合に法令に従って適切に実施している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・その他（ ）		
・上記で「実施した／努めた」に一つもチェックが入らず（全て「左記非該当」）、その他の取組も行っていない場合は、その理由（ ）		

オ 工事等を実施する場合は、生物多様性に配慮した事業実施に努める。

具体的な事項	実施した／努めた	左記非該当
・近隣の生物種に影響を与えるような、水質汚濁が発生しないよう努めている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・近隣の生物種に影響を与えるような、大気汚染が発生しないよう努めている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・施工にあたり使用する機械や車両について、排気ガスの規制に関連する法令等に適合したものを使用する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・その他（ ）		
・上記で「実施した／努めた」に一つもチェックが入らず（全て「左記非該当」）、その他の取組も行っていない場合は、その理由（ ）		

カ みどりの食料システム戦略の理解に努めるとともに、機械等を扱う場合は、機械の適切な整備及び管理並びに作業安全に努める。

具体的な事項	実施した／努めた	左記非該当
<ul style="list-style-type: none"> 「環境配慮のチェック・要件化（みどりチェック）チェックシート解説書 ー民間事業者・自治体等編ー」にある記載内容を了知し、関係する事項について取り組むよう努める。 	□	□
<ul style="list-style-type: none"> 事業者として独自の環境方針やビジョンなどの策定している、もしくは、策定を検討する。 	□	□
<ul style="list-style-type: none"> 従業員等向けの環境や持続性確保に係る研修などを行っている、もしくは、実施を検討する。 	□	□
<ul style="list-style-type: none"> 作業現場における、作業安全のためのルールや手順などをマニュアル等に整理する。また、定期的な研修などを実施するように努めている。 	□	□
<ul style="list-style-type: none"> 資機材や作業機械・設備が異常な動作などを起こさないよう、定期的な点検や補修などに努めている。 	□	□
<ul style="list-style-type: none"> 作業現場における作業空間内の工具や資材の整理などを行い、安全に作業を行えるスペースを確保する。 	□	□
<ul style="list-style-type: none"> 労災保険等の補償措置を備えるよう努めている。 	□	□
<ul style="list-style-type: none"> その他（ ） 	/	/

・上記で「実施した／努めた」に一つもチェックが入らず（全て「左記非該当」）、その他の取組も行っていない場合は、その理由（ ）